

3 学年道徳科 指導案

日時 令和〇年△月□日▽校時

児童 ××小学校3年1組

授業者 芳賀瞳子

1 主題名と教材名

主題名 でんとうを受けつぐ (内容項目 C—伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)

教材名 けいの秋田竿燈まつり (新版 みんなのどうとく3 Gakken)

2 本時の指導

(1) ねらい

郷土の伝統や文化を受け継ぐために活動している人々の努力や思いについて話し合うことを通して、自分の町に残る伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

時間	学習活動	主な発問(○)と児童の反応(・)	指導上の留意点
導入 5分	1 授業の見通しを持たせる。 2 課題設定	○学校、地域の伝統はどんなものがあるか。 学→・運動会、学習発表会 地→・祭り、イベント ○どうしてずっとそのイベントを続けることができるのだろうか。	・学校→地域と範囲を広げ、受け継がれるものについて考えやすい配慮をする。 ・地域での伝統から課題設定につなげる。
地域の伝統を受け継ぐのはどのような気持ちが必要なのか考えよう。			
展開 30分	3 範読し、心に残ったところを交流する。 4 けいちゃんがずっと竿燈まつりに参加している気持ちを考える。	○どのようなところが印象に残ったか。 ・けいちゃんが真剣に練習に向き合うところ。 ・けいちゃんが小さいころからずっと続けているところ。 ○けいちゃんが小さいころからずっと続けているのはどうしてだろう。 ・竿燈まつりにあこがれているから。 ・あこがれがあることで、またやりたいと思うから。	・参加者側のけいちゃん目線の感想を拾い、次の発問につなげる。 ・参加する人の気持ちや思いに共感させる。

	<p>5 住んでいる地域で、毎年行われている祭りやイベントを調べる。</p> <p>6 感染症で一度中止になった行事が開催された際の、主催者側、参加者側の気持ちを考える。</p>	<p>○+日報を活用し、岩手県内の2022年1月から9月の伝統芸能や祭りに関する記事から気になる記事を1つ選び、交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さんさ踊り ・花巻まつり <p>○一度中止になった伝統芸能や祭りなどのイベントが、また復活できたのはどのような思いがあったからか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・またやりたい、見に行きたいという思い。 ・ずっと昔からやってきた伝統を引き継いでいきたいという思い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで一度途絶えたイベントが復活していることに気付かせる。 ・見つけにくい場合は、「コロナ 中止」で検索し、コロナの影響で中止していたイベントを見つける。 ・道徳教材の登場人物であるけいちゃんの気持ちも重ねながら、参加者の気持ちを尋ねる。
<p>終末 10分</p>	<p>7 自分の体験や経験と重ねて振り返りを行う。</p> <p>8 祭りに参加した方々のインタビュー記事を読み、読んで感じたことを交流する。</p>	<p>○ふるさとの応援したい祭りやイベントはどのようなものか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さんさ踊り 4日間も行う大イベントだから。 ・さくらまつり 春を感じられるから。 <p>○資料①(北上みちのく芸能祭りが3年ぶりに開催される記事)のコメント(実行委員長や、出演者)から、感じたことはどんなことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいるいない問わず、伝統は大切。 ・イベントが中止になることで悔しいと思っていることから、祭りに対しての情熱が伝わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入 ・理由もきき、児童が自分事としてどのような心をもって、応援したいのかを言語化させる。 ・地域での活動や、子どもたちが実際に行った活動を思い出すなど、児童の身近なものを取り上げる。

第4学年 国語科学習指導案

○単元名「アップとルーズで伝える」「新聞をつくろう」(光村図書)

○単元目標

○単元の指導と評価の計画 (全13時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 [評価方法]
一	1	①課題を確認し学習の見通しをもつ。 ②文章構成を確かめ、段落と写真の対応関係を読み取る。	・教科書 p.62「問いをもとう」や「目標」を参照させ、自分なりの課題を立てられるようにする。	◇接続する語句の役割、段落の役割について理解している。[記述・発言] 【知・技】
	2	③筆者の考えが書かれた文章を見つけ、筆者の考えの伝え方をつかむ。 ④それぞれの段落同士の関係を読み取る。	・既習事項を基に、文章全体の内容から筆者の考えが述べられている部分を探すよう促す。 ・教科書 p.65「考えと例」を、筆者の考えの述べ方を捉える視点として示す。	◇考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。[記述・発言] 【知・技】
	3	⑤「アップ」と「ルーズ」をどのように対比し説明しているかを捉える。	・「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することでどのような良さがあるか、グループで意見を交流するよう促す。	◇「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述をもとに捉えている。[記述・発言] 【思・判・表】
	4	⑥「アップとルーズで伝える」ことについて、実際の新聞記事の写真や本文を引用し、自分の考えをまとめる。	・+日報「アップとルーズで伝える岩手の題材」を示し、そこから一つ選択した写真を具体例として引用するよう促す。 ・本文を一部引用しながら自分の考えをまとめるようにする。	◇「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。[記述]
	5	⑦全体で文章を交流する。	・教科書 p.63「発表の例」を見本として示す。	◇粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。 [観察・発言]
二	6	⑧実際の新聞を読み、新聞記事の特徴や工夫をおさえる。	・教科書で示されている資料を視点とし、教師が解説しながら+日報の記事を参照することで、新聞の特徴をおさえられるようにする。 ・+日報「ジュニアウィークリー」で気になった紙面を一つ選び、どこ	◇分かりやすく伝わる新聞を作ることについて問いを見出し、学習の見通しをもって、新聞づくりに取り組もうとしている。[観察・発言]

		に魅力を感じたかグループで話し合うことで、新聞記事の工夫をつかむ活動を設定する。	
7 ・ 8	⑨グループごとに新聞のテーマを決め、取材計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ例をいくつか挙げ、具体的にどんな記事ができそうかイメージを持たせる。 ・アンケート調査の仕方を教科書で確認する。アンケート以外の調査方法については、+日報の記事から具体例を挙げながら教師が説明する。 ・記事のテーマに合わせて取材の対象や方法を考えるよう促す。 	<p>◇比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。[記述] 【知・技】</p> <p>◇「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。[割り付け・発言]【思・判・表】</p>
9 ・ 10	⑩取材をし、写真撮影やメモづくりを行う。	全次で学習した「アップ」と「ルーズ」の視点を踏まえて写真を選ぶよう、既習事項を想起させる。	◇「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。[記述・発言]【思・判・表】
11 ・ 12	⑪岩手日報「クミハン」を使用し、割付や写真の配置を考え、記事を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・6時の内容を踏まえ、読み手の視点から、分かりやすい割付や写真の配置、記事の書き方を考え推敲するよう促す。 ・+日報クミハン「記事の書き方」を参照し、新聞記事を書く時のポイントを確認する。 	◇進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。[観察・割り付け]【態度】
13	⑫全体で読み合い、感想を共有する。	・他グループと交流し、書き方や紙面配置の工夫の効果について振り返る時間を設ける。	◇新聞の特徴や工夫の良さを実感し、今後の書く活動に活かそうとしている。[観察・記述]

第6学年社会科学学習指導案

1 単元名 10 戦争と人々の暮らし（教育出版社「小学 社会6」 p214-215） 6/7時

2 本時のねらい

空襲による被害や本県における戦争被害について調べ、戦争によって国民が受けた被害の大きさを捉える。

3 評価

空襲による被害や本県における戦争被害についての調べ学習を通して、戦争によって国民が受けた被害の大きさについて理解している。（知識・技能）

4 展開

時	学習内容と学習活動	指導上の留意点	資料
問題把握	1 写真資料から、何があったのかを考える。	・写真を通して、児童との応答の中で課題を引き出し、課題設定へとつなげる。	写真資料①
	戦争によりまちの様子や人々の暮らしはどのように変わっていったのだろう。		
問題の追究	2 調べるための見通しをもつ。	・教科書、資料集で調べることを確認する。	教科書 資料集 動画 新聞記事① 新聞記事② 資料
	3 空襲の様子や被害について、教科書や資料集で調べる。	支援：調べるための資料を指定（教科書）し、読み取れることをメモするように伝える。 ※教室内で相談してよいことを確かめる。 ・「空襲」の動画を視聴し、その様子について理解できるようにする。	
	4 本県における空襲等の被害について新聞記事から知る。	・新聞記事①「頭上に戦闘機 恐怖今も」（岩手日報 2025年11月5日朝刊 19項）新聞記事②「艦砲 恐怖の音、今も」（岩手日報 2025年8月10日朝刊 19項）を提示し、本県の様子について知る。	
	5 空襲の被害から人々の生活がどのように変わったのかを調べる。	・資料として、「疎開先での献立表」「学童疎開を体験した山田さんの話」（教科書 p215 掲載資料）、新聞記事③「奪われた学ぶ環境」（岩手日報 2025年8月13日朝刊 22項）を配付し、生活の変化について調べられるようにする。	

		<ul style="list-style-type: none"> 資料から学童疎開する側、学童疎開を受け入れる側の両面から生活の変化を捉えられるようにする。 全国で同じような状況が起きていたことをおさえる。 	
ま と め	6 本時の学習についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 本時のキーワードを使いながら、自分の言葉で文章にしてまとめる。 キーワード：空襲、艦砲射撃、疎開	
	【例】 日本中のまちに空襲や艦砲射撃が行われ、建物が壊されたり、人が命をうばわれたりして、まちの様子は大きく変わった。空襲をさけるため疎開をした子どももいて、人々の生活は大きく変わった。	評価 空襲による被害や本県における戦争被害についての調べ学習を通して、戦争によって国民が受けた被害の大きさについて理解している。(知識・技能) ノートへの記述、発言	
	7 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学びについて、振り返りを記述する。 	

【写真資料①】



(横浜市史資料室より)

艦砲 恐怖の音、今も

「戦後80年」昭和20年7月1日、山形県小川町。山形県立小川中学校の校舎に、艦砲の音は、まるで雷が落ちるかのように、轟々と響きわたった。当時の小川町は、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。この日、小川町は、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。この日、小川町は、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。

戦後80年

山へ避難 声殺し耐える



「艦砲射撃の恐怖の音を覚えていることはない。戦時中の恐怖とともに平和への思いを語る秋元厚子さん（盛岡市）

「戦争二度と」苦難語り継ぐ

秋元厚子さんは、戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。

釜石で経験・秋元厚子さん（盛岡）

米兵は笑っていたように見えた

頭上に戦闘機 恐怖今も

「戦後80年」昭和20年11月5日、山形県立小川中学校の校舎に、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。この日、小川町は、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。この日、小川町は、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。

一関の菅原由美子さん

戦後80年

数日後空襲「戦争は駄目」



「戦後80年」昭和20年11月5日、山形県立小川中学校の校舎に、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。この日、小川町は、米軍機の襲撃を受け、多くの犠牲者を出していた。

菅原由美子さんは、戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。

疎開受け入れ 1教室に80人

奪われた学ぶ環境



戦時中の疎開や苦難を語り継いでいる立花ヤエさん。「争い一番多かった」と平和をかきしめる。

岩手の証言 戦後80年

立花ヤエさん（92）の男性は出征し、残された和の年、同市立の疎開受け入れ、1教室に80人。疎開受け入れ、1教室に80人。疎開受け入れ、1教室に80人。疎開受け入れ、1教室に80人。疎開受け入れ、1教室に80人。

遠野・立花ヤエさん(92)

遠野市立立花ヤエさん(92)は、戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。戦争中に山へ避難し、苦難を語り継ぐ。

ドーン 釜石から恐怖の音

釜石から恐怖の音を聞いた立花ヤエさん。釜石から恐怖の音を聞いた立花ヤエさん。釜石から恐怖の音を聞いた立花ヤエさん。釜石から恐怖の音を聞いた立花ヤエさん。釜石から恐怖の音を聞いた立花ヤエさん。

第6学年 社会科学習指導案

1. 単元名：「幕府の政治と人々の暮らし」（教育出版：『小学社会6』）

2. 単元の見積

江戸幕府の政治の仕組みや社会の様子について、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制などに着目して、地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府が政治を行った頃、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

3. 単元の見積規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、江戸の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。	①世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、江戸の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え表現している。 ②江戸の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	①江戸の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4. 指導と見積の計画（全6時間）

※太字は、見積したことを記録に残す場面

時間	ねらい	○主な学習活動・内容 ■新聞記事	見積方法【見積規準】
1	大名行列について話し合うことを通して、江戸幕府の政治について学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。	○大名行列が行われるようになった理由を考え、江戸幕府の政治の仕組みや社会の様子について学習問題をつくり、学習計画を立てる。 ・単元の学習問題の設定 ・学習問題の予想 ・学習計画の立案	発言内容やロイロノートへの記述から「大名行列の様子から、問いを見だし、学習問題として表現しているか」を見積する。【思-①】 発言内容やロイロノートへの記述から「予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を見積する。【態-①】
	江戸幕府は、どのようにして力を強めていったのだろう。		

2	大名配置図や武家諸法度、参勤交代の制度などを調べ、江戸幕府の大名支配の仕組みを理解できるようにする。	<p>○大名配置図や武家諸法度、参勤交代の制度などについて調べる。</p> <p>・幕府は、大名の配置や武家諸法度などのしくみをつくり、強い力で大名を支配した。</p> <p>■『『伊達藩最北』歩む歴史』 (2023.8.15)</p> <p>■「資料に学ぶ盛岡の参勤交代」 (2021.8.13)</p>	ノートやロイロノートへの記述、発言内容から「大名配置図や武家諸法度、参勤交代の制度などを調べて、大名支配の仕組みを理解しているか」を評価する。【知-①】
3	身分制度のもとでの人々の暮らしを調べ、江戸幕府の人々に対する支配の仕組みを理解できるようにする。	<p>○百姓や町人の暮らしの様子を調べる。</p> <p>・幕府は、身分制度のもと、さまざまな負担を負わせたり制限を設けたりして、人々を支配した。</p> <p>■『『晴食』まめぶ 心待ち』 (2021.11.18)</p>	ノートやロイロノートへの記述、発言内容から「身分制度のもとでの人々の暮らしを調べて、江戸幕府の人々に対する支配の仕組みを理解しているか」を評価する。【知-①】
4	鎖国の経緯や内容を調べ、鎖国政策が幕府の支配に及ぼした影響を理解できるようにする。	<p>○幕府が鎖国政策をとった経緯を調べる。</p> <p>・キリスト教が広がることをおそれた幕府は、鎖国を行い、外国の情報や貿易の利益を独占した。</p> <p>■「信教と製鉄の里 伝承」 (2021. 8. 2)</p> <p>■「キリシタン弔う慰霊碑」 (2022. 9. 18)</p>	ノートやロイロノートへの記述、発言内容から「鎖国の経緯や内容を調べて、鎖国政策が幕府の支配に及ぼした影響を理解しているか」を評価する。【知-①】
5	鎖国下での江戸時代の外国との交流を調べ、幕府の外交政策や交易の様子を理解できるようにする。	<p>○鎖国下での外国との交流の様子を調べる。</p> <p>・中国・オランダだけでなく、朝鮮、琉球王国、アイヌの人たちと交流・交易していた。</p> <p>■「アイヌの『跡』一冊に」 (2021.11.7)</p> <p>■「アイヌ 江戸時代の遺構」 (2023. 10.30)</p> <p>■「県内アイヌ語地名の参考書」 (2023.8.9)</p> <p>■「岩手と東北アジア2・3」</p>	ノートやロイロノートへの記述、発言内容から「鎖国下での江戸時代の外国との交流を調べて、幕府の外交政策や交易の様子を理解しているか」を評価する。【知-①】

		(2022.10.9/16) ■「通信使復元船8月初来航」 (2023.6.22) ■「日韓関係 良くなるの？」 (2023.4.25)	
6	これまでの学習をもとに、江戸幕府の政治によって、武士の政治が安定したことを理解し、幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子を関連付けて考え、表現できるようにする。	○学習問題に対する自分の考えを、伝え合う。 ・大名や人々、海外に向けて行った政策が、支配するために効果があった。 ○これまでの学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ・江戸幕府が政治を行った頃、武士による政治が安定した。 ■「家康の知恵『現代に生きる』」 (2023.9.21)	ロイロノートの記述から「これまでの学習をまとめ、武士による政治が安定したことを理解しているか」を評価する。 【知-②】 ロイロノートの記述から「江戸幕府の政治について、学習してきたことを基に、幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子を関連付けて考え、表現しているか」を評価する。 【思-②】

5. 本時の指導 (4/6)

(1) 本時のねらい

鎖国の経緯や内容を調べ、鎖国政策が幕府の支配に及ぼした影響や鎖国下での交易の様子を捉える。

(2) 本時の展開

	○学習活動と主な発問	□資料	◇留意点 ☆評価
導入 (つかむ)	○絵ふみの様子から外国との交流が変化していったことを捉え、学習問題を立てる。 ・何かを踏んでいる。 ・どうしてこんなことをする必要があるのだろうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">江戸幕府は、なぜキリスト教を禁止したのだろうか。</div>	□イラスト「キリスト教の取りしまり」 □写真「絵ふみに使われた像」	◇資料を提示し、キリスト教に対する幕府の姿勢を捉えさせる。 ◇信長・秀吉の対外政策を振り返る。
	○学習問題に対する予想を考える。 ・キリスト教の人が何か悪いことをするようになったのではないか。 ・大名や人々を力でおさえたように、キリスト教も力でおさえようとしたのではないかな。		◇学習問題について自分なり予想を立てさせ、主体的に追究できるようにする。

<p>展開 (しらべる)</p>	<p>○学習問題について調べる。</p> <p>○調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の信者が増えたから禁止した。 ・最初は許していたけど、幕府のことを聞かなくなることをおそれて禁止した。 ・「島原・天草一揆」というのが起きた。一揆は、年貢とキリスト教への厳しい取り締まりに反対して起きた。 ・キリスト教の信者を見つけ出して処罰するために絵ふみを行った。 <p>○スクラップしてきた新聞記事から、岩手県内の当時の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多いときで3万人の信者がいたとされている。 ・キリシタンが製鉄技術を教えてくれた。 ・幕府の弾圧で300人以上が処刑された。(宮城米川では120人) <p>○調べたことをもとに、鎖国政策は国内にどのような影響を及ぼしたのか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国との関わりが制限された。 ・外国の情報や貿易の利益は、幕府が独占するようになった。 ・幕府の力がますます高まった。 	<p>□地図「日本と東アジア各地との貿易」</p> <p>□イラスト「島原・天草一揆」</p> <p>□年表「鎖国までの流れ」</p> <p>□イラスト「長崎の出島」</p> <p>□イラスト「出島での貿易の様子」</p> <p>■スクラップ記事「信教と製鉄の里 伝承」(2021. 8. 2)</p> <p>■スクラップ記事「キリシタン 吊う慰霊碑」(2022. 9. 18)</p>	<p>◇教科書や資料集、タブレットなどを活用して調べ、まとめさせる。</p> <p>◇自分たちが住んでいる岩手県内のことも関連付けて学び、理解を深められるよう新聞のスクラップ記事を提示して考えさせる。</p> <p>◇調べたことを根拠に、鎖国が及ぼした影響を考えられるように、問いかけをする。</p>
<p>終末 (まとめ)</p>	<p>○江戸幕府の鎖国政策についてまとめる。</p> <div data-bbox="268 1489 1082 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>江戸幕府は、キリスト教が広まり、幕府の命令を聞かなくなることをおそれ、鎖国をし、キリスト教を禁止した。</p> </div> <p>○本時の振り返りをロイロノートに書き、送る。</p>		<p>◇江戸幕府が行った鎖国政策の経緯やその影響を捉えさせる。</p> <p>☆「鎖国政策が幕府の支配を強めたことや外国との関係について捉えているか」を評価する。【知】</p>

「伊達藩最北」歩む歴史 浮牛城まつりで大名行列



衣装をまとい、大名行列を再現する住民ら

北上 第17回浮牛城まつり(実行委主催)は11日、北上市口内町の中心部で開かれた。領主の領内視察を再現した大名行列が、地元住民らによって執り行われ、「伊達藩最北の町」の歴史を発信した。

ほら目を合図に殿役の八重樫浩文市長、姫役の地元菊池めぐみさん(20)ら約50人が口内地区交流センターを出発。酷暑の中、1時間余り町内を練り歩き、旧口内小で家臣団の迎えを受けた殿様は「大儀であった」と応じた。

南部藩境に接する口内町にあった浮牛城の城主は伊達藩の家臣が務め、警備に当たっていた。大名行列は1866(慶応2)年に仙台詰の領主が視察に訪れた様子を再現した。

小学校時代から参加し、今回は御建弓役の佐藤宙哉さん(東陵中3年)は「地元のまつりに関われる時間がうれしい」と汗を流し、治道に華やかさを振りまいた菊池さんは「皆さんにきれいと声援をもらい、いい思い出になった」と笑顔を見せた。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

資料に学ぶ盛岡の参勤交代



盛岡藩の参勤交代に焦点を当てたもりおか歴史文化館の企画展

歴史文化館で企画展

盛岡市内丸のもりおか歴史文化館は企画展「江戸へ盛岡藩の参勤交代」を開いて、盛岡から江戸までは13日かかる参勤交代の実態を、盛岡から江戸まで約2週間の参勤交代の資料から探る。

第1章では、江戸時代以前の資料から、後の参勤交代へつながる武士の務めをひもとく。「豊臣秀次朱印状」は、関白豊臣秀次が朝鮮出兵のために招集した軍勢に出向いたため、遠い本拠地から出向いた大名は交代制とすることなどが記されている。このように、主命による軍行が後の参勤交代の原型となった。

第2章は制度化された参勤交代にまつわる資料を紹介。政務日誌「盛岡藩家老席雑書」の記述や「老中連署奉書」からは、近隣の藩と日程をすり合わせたり、幕府に時節のお伺いを立てたりとさまざまな調整が必要だったことが分かる。

盛岡藩の参勤交代の実態に焦点を当てた第3章では、江戸から盛岡城下までの道程を描いた「増補行程記」や、110円。問い合わせは同館(019・681・2100)へ。

10月3日まで。午前9時〜午後7時。一般300円、高校生200円、小中学生100円。問い合わせは同館(019・681・2100)へ。

取り上げた終章で締めくくられる。87点の展示資料は文字資料が中心だが、ひもとくことで参勤交代のために奔走した人々の姿が見えてくる。担当学芸員の福島茜さんは「参勤交代に関わる何百人という人たちに思いをはせると、見方が変わってくるのでは。資料の向きには人がいる」と語る。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。



久慈

久慈市山形町の郷土料理「まめぶ」は、江戸時代から正月や結婚式、法事などの際に食べられてきた地域の行事食だ。取材先で「ごちそうになるときもあり、支局生活を満喫している。まめぶは、しょうゆ味の汁にクルミと黒砂糖を包んだ親指大の小麦粉団子、ゴボウ、ニンジン、油揚げな

「晴食」まめぶ 心待ち

どを入れるのが一般的。団子をかんた瞬間、甘さがしよゆ味の汁と絡み、優しい味に変わる。最近になつて川井、霜畑、小国、荷軽部、日野沢、戸呂町、繁、来内の町内8集落によって独自の料理法があることを知った。団子に黒砂糖を入れずクルミのみの子の形も丸いものと細長いものがあり、おめでたいときは丸く、不幸のときは細長い集落がある一方、その逆もあるという。町内の別の集落から嫁いだ女性から「自分が食べ

(木村亮)

信教と製鉄の里 伝承



大籠では戦国時代の水練年間（1558-70年）、備中・現岡山県・かき松大八郎、小八郎兄弟が寄寄、南流といふ製鉄技術を取り入れた。兄弟はキリシタンだったため、布教にも力を入れ、最終には大籠と周辺地域にキリシタンを労働力に製鉄は盛んとなり、伊達政宗に奉用の鉄を提供したといふ。しかし、1609、40年の弾圧で300人以上が処刑されたといわれる。

大籠で製鉄を採る大籠キリシタン史跡保存会のメンバー

一関・大籠キリシタン史跡保存会

キリシタン殉教の里、一関市藤沢町大籠の大籠キリシタン史跡保存会（山田一也会長）の会員は1日、砂鉄採りを行い、今年もたから製鉄の再現が始まった。この地に先進の製鉄技術を伝えたのがキリシタンだったことから信の広がりとともに、仙台藩最大の鉄産地となった歴史を後世に伝えようと4年前から取り組む、遺りためた鉄を使つて土産を売り出す構想も進んでいる。

今年も「たたら」再現 土産品作り 地域発信へ

砂鉄の採取場所は大籠から約20キロ離れた根町地蔵の大川。当時もこの地域から砂鉄を運び込んだという歴史を受け継いだ。雨にぬれながらメンバー10人が熊手で河床を掘り、磁石で砂鉄を吸着させ、約60キロを集めた。乾燥後、不純物を取り除き、1月に炭を燃料に鉄を完成させる。

これまでの4年間で生産した鉄塊は40トンを超え、メンバーから才架のベンチなどの原料に活用する案が出ていた。土産品に使えるといいと思う。次世代に伝えることにもなる」とアイデアを練る。（千歳恵）

信教と製鉄の地域史を伝承しようと、保存会は2017年、地元キリシタン資料館近くに館を設けた。たたら製鉄の再現をスタートした。山田会長は「大籠はキリシタンだけじゃなく、鉄の生産地だったことも伝えなきゃ」と思いを語る。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。



一関・長徳寺に建立 宗教超え平和へ祈り

聖徳太子を顕彰する渋谷君之任（左）から3人目、川上直哉牧師（右）ら

一関市藤沢町大籠の長徳寺に、キリシタンと長徳寺の友好を記念する石碑が建立された。この石碑は、キリシタンと長徳寺の友好を記念するもので、長徳寺の境内に建立された。石碑の建立は、キリシタンと長徳寺の友好を記念するもので、長徳寺の境内に建立された。

キリシタン吊る慰霊碑

「この地に建てられた聖を知られ」と語り、賛美歌を歌った。本堂は破産供養の碑と共に、高橋神父や川上牧師も参列した。

キリシタン殉教公同墓地の歴史文化センターでは記念講演会「キリシタンと長徳寺」を開催し、高橋神父が講演した。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

アイヌの「跡」一冊に

八幡平市の96歳菅原さん 全国の地名を研究



「アイヌ語系地名総覧 青森から沖縄まで」を出版した菅原さん

八幡平市鹿野木元中学校教員菅原さん(96)は、アイヌ語系地名の研究をまとめた「アイヌ語系地名総覧 青森から沖縄まで」を出版した。独自の調査から浮かび上がった全国各地に点在するアイヌ語系地名の「跡」を、自ら長年研究してきた菅原さんの研究にも光を照らす。

自然保護の精神にも光

菅原さんは、アイヌ語系地名の調査を通じて、アイヌ文化の自然保護の精神にも光を照らす。アイヌ語系地名の調査を通じて、アイヌ文化の自然保護の精神にも光を照らす。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。



アイヌ民族が「貝送り」の儀式を行ったとみられる遺構＝北海道・礼文島(北海道大アイヌ・先住民研究センター提供)

アイヌ 江戸時代の遺構 礼文島 魂返す「貝送り」に使用か

北海道・礼文島でアイヌ民族がアワビの魂を神の国に返す「貝送り」の儀式を行ったとみられる江戸時代の遺構が見つかった。貝送りに関する具体的な証拠が確認されたのは初めてで、調査団を率いる北海道大アイヌ・先住民研究センター

長に加藤博文教授は「アワビは重要な交易品として特別な存在だったのではない」と話す。アイヌ民族には自然の恵みを神からの贈り物と考え、神の国に魂を送り返して再訪を願う儀式「イオマンテ」がある。地域によって儀式の対象の違いがあり「クマ送り」が広く知られている。加藤教授によると、遺構は8月、礼文島北部の砂丘にある遺跡で発掘。地表から深さ50センチほどの場所で、直径1.5センチの範囲に大量のアワビの殻が集中していた。クジラの骨を削ったへらや曲げられた小刀のほか、江戸時代の貨幣である寛永通宝も見つかった。加藤教授によると、江戸時代末期には礼文島に約100人のアイヌが住んでいたが、記録がなく詳細な歴史が分かっていない。加藤教授は「当時、北海道の干しアワビは日本から中国向けの輸出品で、富をもたらすものとして貝送りをした可能性があると推測している」。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

東北アイヌ語地名研究会(本研究会)は、アイヌ語系地名の調査をまとめた「アイヌ語系地名総覧」を出版した。独自の調査から浮かび上がった全国各地に点在するアイヌ語系地名の「跡」を、自ら長年研究してきた菅原さんの研究にも光を照らす。

県内アイヌ語地名の参考書

「東北研究会」がまとめた「アイヌ語系地名総覧」は、アイヌ語系地名の調査をまとめた「アイヌ語系地名総覧」を出版した。独自の調査から浮かび上がった全国各地に点在するアイヌ語系地名の「跡」を、自ら長年研究してきた菅原さんの研究にも光を照らす。

山田秀三さんの調査まとめ

山田秀三さんの調査まとめ。アイヌ語系地名の調査を通じて、アイヌ文化の自然保護の精神にも光を照らす。



「北上山地と三陸中北部 山田秀三の地名調査ノート」

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

日韓関係 良くなるの？



韓国の首都ソウルでは、日本にゆずりすぎだと尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領を批判（ひはん）する人々が集会やデモを行いました＝3月18日（共同）

「仲直り」へ両首脳合意 歴史で対立 改善に期待

岸田文雄首相と韓国の尹錫悦大統領が3月、東京で会談し、日本と韓国の関係を良くすることで合意しました。両国は海を隔てて暮らすから交流がありますが、ここ5年ほどは歴史の問題で激しく対立していました。今後が注目されます。

なぜ対立したのでしょうか。日本は1910年に韓国を領土とし、戦争で敗れた45年まで支配しました。両国は65年、国交（国同士の関係）を結びます。その時の交渉で、韓国は支配の（国同士の関係）を結びます。18年、第2次世界大戦中に日本で働かされた韓国人につくなくないを求めましたが、日本が韓国の経済のために多くのお金を出すことで、その問題は解決したことになります。今回の首脳会談が実現したきっかけは、この問題で韓国政府が示した解決策です。韓国の団体が日本の会社の代わりにお金をはらうといった内容です。ただ韓国では反対の声も強く、順調に進むかどうか不明です。両国は今後、首脳がたがいの国を訪問するなど、関係改善へ動き出しそうです。ミサイルを発射する北朝鮮の問題など、国を守る分野でも協力する予定です。岸田首相は5月の先進7カ国首脳会議（G7広島サミット）に尹大統領を招きます。日韓関係は近年「戦後最悪」ともいわれてきましたが、文化の交流は進んできました。日本ではK-POPや韓国のドラマなど「韓流」のブームが続き、韓国では日本のマンガ「スラムダンク」のアニメ映画や日本旅行がはやってるそうです。政治の世界でも、おたがいの理解が進むことを期待したいですね。

韓国がある朝鮮半島と日本との交流は、古代から長く続いています。歴史を見ると、仲が良かった時もあれば、戦争をしたことや日本が支配した時期もありました。

古代には、主に4～7世紀（1700～1300年前）ごろ、朝鮮半島や中国から日本に多くの人たちが移り住みました。この人々は「渡来人」と呼ばれ、土器づくりや農業、はたおり（器械で布を織ること）

古代から続く交流 渡来人や朝鮮通信使

など新しい技術を伝え、日本の発展につながりました。

安土桃山時代には、豊臣秀吉が明（今の中国）を支配することを計画し、朝鮮半島に2度にわたって兵を出しました。戦争になったため、交流は止まりました。

江戸時代に入ると、当時の朝鮮の国王は使いを江戸幕府に送り、交流を再開させます。「朝鮮通信使」です。約200年間続き、日本を12回おとされました。

古代	▶ 朝鮮半島から日本に移り住んだ人たちが新しい技術や文化を伝え、日本の発展につながる
安土桃山時代	▶ 豊臣秀吉が朝鮮に兵を送り、戦争をする
江戸時代	▶ 朝鮮の王が日本に使いを何度も送り、交流が続く
1910年	▶ 日本が韓国を領土とし、朝鮮半島を支配
45年	▶ 日本が第2次大戦に敗れる。48年、朝鮮半島は南側が韓国、北側が北朝鮮の2国に分かれる
65年	▶ 日本と韓国が国交を結ぶ
2000年代～	▶ 日本で韓国の音楽や映画などがブームに
18年	▶ 韓国の裁判所が日本の会社に、韓国人の元労働者へお金をはらうよう命令。日韓関係が悪化
23年3月	▶ 日韓首脳が関係改善を合意

▶ 日韓首脳会談での岸田首相（右）と尹錫悦大統領＝3月16日、首相官邸

日本と韓国の関わり

家康の知恵「現代に生きる」

岩手情報文化研究会（会
長・川村公司岩手日報社長）

講演要旨は次の通り。

と岩手日報総合研究所は20
日、盛岡市豊岩下の盛岡グ
ランドホテルで例会・特別
講演会を開いた。小説家の



安部龍太郎が
人（68）＝写真
IIが「家康の
国づくり」と

題して講演し、約70人が聴
地の公有。大名に領地を分与

せず、治める権利を与えた。
幕府は天下を治める権限を持
ち、それを藩に小分けして
預けた。ある種の分権統治だ。
信長、秀吉が進めた重商主
義は見直した。公地公民的な
農本主義に回帰し、貧富差の
拡大を抑えた。これらの根本
には、私有は競争と格差を助
長するとの考えがある。公有
は徳川の治世のキーワードだ。
士農工商という家業の世襲・
永続性も保障し、儒教を基本
に武士は武士、商人は商人の
道徳教育も促した。世の中は
分業で回るようになった。
長き戦乱の後、こうしても
たらされたのは安定した社会

だ。なぜ家康はここまで平和
を希求したのだろうか。幼い頃
から親しんだ浄土宗の教えが
彼の背骨を成している。家康
は戦旗に「厭離穢土欣求浄土
（おんりえごんじょう）」
と記した。現世は戦いに明け
暮れているが、本来そうでは
ない。戦乱を生き延び、この
世に浄土を実現するとの決意
表明だ。

家康は何がこの世を穢土汚
れた世界にするのかと問い
続け、人間の執着、中でも敵
意とエゴイズムにその答えを
見た。これをうまく制御する
ことを国づくりの基本とした。
江戸幕府は人類史上初めて、

これに成功した政権だと言え
る。
戦争や差別が絶えない現代
にも、家康の知恵は生きる。
明治期に復活した重商主義
効率偏重の中央集権を見直す
ことは、過疎や少子高齢化、
格差拡大を食い止める一助に
なるだろう。

◇

岩手情報文化研究会は会
員制。入会、聴講の問い合
わせは岩手日報総合研究所
内の事務局（019・65
3・4111、内線216
7）へ。

第6学年理科学習指導案

1 単元名 11 地球に生きる（東京書籍）

2 単元の目標

生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生物と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 ②人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 ③生物と環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	①生物と環境について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ②生物と環境について、観察、実験などを行い、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。	①生物と環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

4 単元計画

時	○学習活動	・指導上の留意点◇評価【評価方法】
1	○地球の写真やこれまでの理科の学習について振り返り、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> これからも地球で暮らしていくために、私たちに何ができるのだろう。 </div>	・教科書で学ぶほか、+日報を活用して「今何が問題なのか」「行われている取り組みは何か」「自分にできることは何か」について、クミハンを活用してまとめていくことを確認する。 ◇思①【ノート、発言等】
2 3	○教科書を活用して、人と空気・水・生き物とのかかわりや人の暮らしが及ぼす影響、世界で行われている工夫等についてまとめる	・教科書を活用しながら、基本的な知識や世界や日本で行われている工夫について理解できるようにする。 ◇知①、知②【ワークシート、発言等】 ◇主①【ワークシート、取組の様子等】

4 5 6	<p>○+日報の活用の仕方（クミハンの使用含む）について学ぶ。</p> <p>○+日報の記事を活用しながら現在の問題や行われている取り組みを調べ、それを踏まえて自分にできることも含めてクミハンにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・+日報を活用することでより身近な問題としてとらえられるようにする。 ・豊かな表現力を醸成するため、クミハンを活用してまとめられるようにする。 ・クミハンには、自分の見つけた記事を張り付けるだけでなく、それについての考えを記入するよう促す。 ・記事の内容だけで理解できない事柄についてはインターネットや図書などを活用して調べるように促す。 ・適宜、友達と交流する機会を取り、より多角的な視点で問題を捉え、内容を充実させるように努める。 <p>◇知③【クミハン、ワークシート等】</p> <p>◇思②【クミハン】</p> <p>◇主②【クミハン、取組の様子等】</p>
7 8	<p>○異なるテーマを調べたもの同士のグループ発表会と代表者による全体発表会を行う。</p> <p>○自分のクミハンと友達の発表を比較しながら聞き、これからの自分の生活の仕方や身に付けた力等を振り返りとしてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容だとしても、まとめ方の違い等にも目を向けさせ、様々な視点からお互いの発表を認め合う雰囲気づくりに努める。 ・自分の内容のみならず他者の内容も含め、これからの自分について展望を持つようにする。 <p>◇思②【クミハン、発表内容】</p> <p>◇主②【振り返りシート】</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

発表会を通じて、地球で暮らしていくために様々な取り組みが行われていることを知り、自分にできることも多数あることを理解し、これからの自分の行動について考え、まとめることができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>お互いの発表を聴き合い、自分たちにできることをまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が何について調べたか一覧にして置き、発表に対する意欲を喚起する。
展開	<p>2 発表の仕方を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4人、異なるテーマを調べたグループを作り、発表し合うことを確認する。自分たちで司会、発表、計時、コメントなどを分担することも確認する。

	<p>3 グループ内発表</p> <p>4 全体発表</p> <p>5 感想交流 全体発表に対して、共通点や差異点など、発表を通して感じたことなどを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表については、発表の仕方、まとめ方、考えの一貫性等、多様な観点でコメントできるように促す。 ・各グループで代表者を決める（第1、第2候補まで）。発表テーマが重複する場合は、教師が全体調整を行う。 <p>◇生物と環境について、観察、実験などを行い、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (思②：発表内容、クミハン)</p>
<p>終末</p>	<p>6 振り返り 自分の意見や考えと発表を通して考えたことを組み合わせて、単元の最初に建てた問いに対しての自分の考えを文章でまとめる。</p>	<p>◇生物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 (主②：ワークシート、発言)</p>

海の生態系を自分たちの手で

1人ひとりのできることで改善できる



記事の写真は海のプラスチックネットのごみに引っかかってしまったウミガメだ。自由に動くこともできず、エサも取れず、苦しんでいることが一目でわかる。この状況を作ってしまったのはだれなのだろうか。プラスチックごみは人間の生活から発生する。その結果関係ない海の生物がこのようにして苦しんでいるのだ。

では我々には何ができるか。一斉清掃が行われている部分もあるが、大切なのは想像力を働かせて、自分たちができることを考えていくことではないか。自分の持っているごみ

海を守るろう

発行者

いわて小学校
6年1組20番
もりおか たろう

が正しく捨てられないとどうなるか、一人一人が考えて行動に移していくことで数億のごみが減る。それが何

万、何億の人につながることでも大きな改善になる。一人一人ができることから始めよう。

プラスチックごみ膨大に

県内でも判明



大槌で研究者の方々が調べ、岩手県にもたくさん漂着していることが分かった。岩手県は、様々な海流が来る地域性となっており、その海流は海外の海を

通ることもあるので、日本のごみではないものも含まれていることも少なくない。人工物のごみでは、ロープ類などが最も多く、次に多いのは釣り具のようだ。陸上から海に流れ込むごみの削減と海域で発生するごみの削減が急務である。

一方、漂着物すべてが困ったものでないという側面もある。海藻や動物の遺骸などは生物の様相を知るのに非常に大きな手掛かりにもなることが言われている。

岩手でも一斉清掃

プラスチックごみの問題が顕在化する中で、岩手でも一斉清掃の動きが始まっている。宮古市や久慈市、大船渡市では海のごみ拾いを実施し、環境を守る大

切さを実感した参加者が多数いた。宮古水産高校生は川や海のごみを調べ5㎞以下のマイクロプラスチックの問題についてもその改善の重要性を示している。

岩手日報 2020年09月22日 ジュニアウィークデー1日

めざそう海ごみゼロ



理科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時

対 象：〇年〇組

場 所：〇年〇組教室

指導者：〇〇〇〇

1 単元 地球の大気と天気の変化 4章 大気の動きと日本の四季（啓林館）

2 本時の指導

(1) ねらい

日本の四季の天気の特徴は、日本列島周辺の気団の変化やそれに伴う風や気圧配置等により変化していることを理解する。

(2) 評価

日本の四季の天気の特徴は、日本列島周辺の気団の変化やそれに伴う風や気圧配置等により変化していることを理解している。【知識・技能】（単元テストにて評価する）

(3) 展開

	学習内容・学習活動	手立て等・◇評価
導入 5分	1 日本の四季と天気の特徴を捉える 2 課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの気温、湿度、天気等の特徴を抑える。 ・春と夏の間の梅雨の時期にもふれる。
展開 30分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の四季の天気の特徴は、何によって変化しているのだろうか？</p> <p>3 課題解決</p> <p>(1) 個人学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を読みながら、季節ごとの天気の特徴と関係する気団、風、前線、気圧配置等についてまとめていく。【資料1】 <p>(2) グループ交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで季節ごとの天気の特徴と関係する気団、前線、風、気圧配置等についてまとめる。 <p>(3) 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本周辺の3つの気団と移動性高気圧を理解する。 ・全体で季節ごとの天気の特徴と関係する気団、風、前線、気圧配置等を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早く終えた生徒には教科書を併用して、季節ごとの天気の特徴やそれが何に起因しているかについてより詳しく調べても良いこととする。 ・「太平洋気団」は教科書では「小笠原気団」となっており、読み替えて学習することを伝える。 ・一人で進めていくことが難しい生徒のために、グループ内で質問できる場面を設定する。 ・日本の四季の天気の特徴が気団と移動性高気圧等によって変化していることを押さえる。 ・その季節を象徴する天気図を提示し、四季による天気図の違いや特徴に、気圧配置と合わせてふれる。
終末 15分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の四季の天気の特徴は、日本列島周辺の気団の変化やそれによる風（季節風、偏西風）の影響や気圧配置などによって変化している。</p> <p>4 振り返り</p> <p>5 次回へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの新聞を見比べて、日本列島における積雪の特徴を捉える。【資料2～4】 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学んだこと、気付いたことや疑問等を記入する。 ・日本海側の積雪が多く、太平洋側の積雪にはあまりふれられていないことを確認する。

東京と比較して、北東して、四季ではなく「六北の梅雨は夏も短く、お盆明けには、朝に雲を翳らせて寝られないくらい涼しい最低気温になる。梅雨▽夏▽秋の長雨(秋)それ故、学校もお盆明けが夏休みの終了と定められている。だが、先日お話をしたように、この時期でも真夏日が増える傾向にある。季節は何に起因するのだろうか。

日本列島の季節を表現する言葉としては、春「六季」と呼ぶ。夏秋冬の「四季がある」とよく言われている。ところが実は、太平洋高気圧、シベリア高気圧、そして「やませ」を発生させるオホーツク海高気圧(寒冷・温帯)が影響も海洋上なので、温帯じ

名越 利幸 22
お天気博士の出前授業



はじめしている。北の寒冷で温帯な空気塊が接触した部分に前面

日本の季節

気団織りなす「六季」

がで、前面と地表面の交線が前線といふことになる。この停滞前線上で天気はくすくす、オホーツク海気団の勢力内に入ると寒冷で温帯、太平洋高気団の勢力内に入ると暖で温帯といふことになる。太平洋高気団が夏至を過ぎ、勢力を拡大すると南から梅雨は明けてくる。北海道までは太平洋高気団の勢力が及ばないために、北海道には梅雨がない。梅雨は、沖縄から東北北部までと言われるゆえんである。

次に、太平洋高気団が勢力を増すと、夏の南東からの季節風が多く吹くようになり、暖かく温帯な空気を日本列島に送るようになる。夏が過ぎ、太平洋高気団の勢力が弱まると、オホーツク海気団が勢力を盛り返し、秋の長雨(秋雨)となる。

その後、偏西風域が北上し、移動性高気圧と温帯低気圧が交互にやってくる秋となる。そして、シベリア大陸上の高気圧が勢力を拡大し、寒冷な乾燥した北西

の季節風が吹く冬がやってくる。

シベリア気団が勢力を弱め、西高東低の気圧配置が弱まると、偏西風が日本列島付近に移動し、高・低気圧が周期的にやってくる。「三寒四温」で徐々に気温が上がり始める春となる。

つまり、南北の気温差による寒暖の違い、海陸分布に起因する季節風による温度の差、偏西風による高・低気圧の移動が原因で日本の季節は変化しており、大陸の東海岸に日本列島が位置するがゆえの現象である(図参照)。

このように、偏西風の影響に加え、陸と海の暖まりやすさ・冷めやすさの違いが季節ごとの天気の特徴を生む。

世界には、2シーズンから4シーズンの国々が多い中、日本の6シーズン(六季)は、日本人の感性を豊かにし、生活習慣や衣服、住居、芸術などさまざまな面から日本人の特徴を語る上で重要な根拠になっていると考えるが、いかがだろうか。(岩手大教育学部教授、付属中学校長)

【資料2】



岩手日報 2025年02月05日 朝刊 20頁

北海道で記録的降雪 列島広範囲大雪恐れ続く



北海道釧路市で進む除雪作業。日本上空に強い寒気が流れ込み、北海道東部を中心に大雪となった。4日午前

日本列島は4日、日本海側で大雪となり、北海道では低気圧の影響で記録的な降雪となった地域があった。今季一番の強い寒気により6日にかけて引き続き広い範囲で大雪となる恐れがあるとして、気象庁が警戒を呼びかけている。雪の少ない太平洋側の平地でも積雪となる所がある見込み。その後も数日は強い冬型の気圧配置が続き、大雪

警報級の大雪となる可能性がある期間

	5日 6日 7日 8日			
	6~24時			
北海道	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
東北	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
関東甲信	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
北陸	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
東海	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
近畿	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
中国	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
四国	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
九州北部	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い
九州南部	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い	可能性が高い

可能性が高い

北海道では4日午後5時までの12時間降雪量の最大値が帯広市で120センチ、本別町で107センチ、芽室町で

北陸や東北などの日本海側では、大陸からの冷たい風が合流してできる日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)による局地的な大雪に警戒が必要だ。

5日は日本の東の低気圧が発達しながら千島近海からサハリン付近に進み、強い冬型の気圧配置となる。北日本から東日本の上空約5千には氷点下42度以下の強い寒気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となる。

気象庁によると、北海道から南の太平洋にある低気圧周辺の湿った空気が、日本海側の停滞した別の低気圧に向かって流れ、雪雲が同じ地域にかり続けた。北海道南側の海面水温は平年より数度高い場所が目立ち、水蒸気が供給されやす

5日午後6時までに予想される24時間の降雪量は多い所で北陸100センチ、東北東海80センチ、近畿70センチ、北海道、中国、九州北部50センチ、九州南部20センチ、四国40センチ、東北、東海70センチ、北海道、近畿、中国50センチ、九州北部30センチ、九州南部5センチ。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

【資料3】



岩手日報 2024年01月23日 朝刊 24頁

日本海側中心 警報級大雪か

今季一番の寒気流入へ

今季一番の強い寒気が23日から25日ごろにかけて流れ込み、冬型の気圧配置が強まるため、北日本から西に北陸や近畿北部、山陰などでは大陸からの冷たい風が合流してできる日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)の平地でも雪が積もる恐れがある。国土交通省と気象庁は22日、合同で緊急発表を行い、積雪や路面の凍結による交通への影響に警戒を呼びかけた。北日本や北陸では高波にも注意する必要がある。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

【資料4】



岩手日報 2023年01月22日 朝刊 22頁

今季一番の寒気、低温注意 全国 24日から

冬型の気圧配置が強まり、日本列島上空に今季一番の寒気が流れ込む影響で、24日から26日ころにかけて全国的に気温がかなり低くなる見通しだ。気象庁は21日、北日本から西日本の日本海側を中心に大雪や大荒れの天気になる所があるとして注意を呼びかけた。気象庁によると、24日は低気圧が発達しながらオホーツク海付近と日本の東に進み、強い冬型の気圧配置になる。26日ころにかけて続き、北日本から西日本の日本海側を中心に平地でも大雪となる恐れがある。海も北日本から西日本の日本海側と沖縄を中心に大しけとなる所がある。気象庁は大雪による交通障害や農業施設への被害、暴風や高波に警戒、注意するよう呼びかけている。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

【各季節の特徴と起因】

梅雨・・・オホーツク海気団（冷たい、湿潤）と小笠原気団（温かい、湿潤）が接触したところに前線（梅雨前線）ができるために起きる。

夏・・・小笠原気団（温かい、湿潤）が日本列島を覆うから暑くてじめじめする。南東から季節風が吹く。（南高北低の気圧配置、にわか雨や雷など）

秋・・・オホーツク海気団が勢力を増し、太平洋高気圧と接触して前線（秋雨前線）ができる。その後、偏西風により移動性高気圧と温帯低気圧がくる。

冬・・・シベリア気団（冷たい、乾燥）が日本を覆い、気温が低く乾燥する。北西の季節風が吹く。西高東低の気圧配置になる。

春・・・シベリア気団が弱まり、偏西風により高気圧と低気圧が周期的に訪れる。「三寒四温」で徐々に気温が上がる。（「三寒四温」って？⇒教科書へ）

中学校道徳学習指導案

日 時 令和8年1月22日(月) 3校時

学 級 2年 組

授業者 菊池 雄一郎

1. 主題名 「自分にできること」
2. 内容項目 (D-19) 生命の尊さ
3. 資料名 「災害 どう身を守る？」(出典 岩手日報(2012年8月30日朝刊10頁))
4. 本時のねらい

災害がおこったとき、自分自身のいのちをどう守るべきか、また家族や周りのために何ができるか、どのように行動すべきか判断する力を育てる。

(1) 本時の展開案

段階	学習活動	授業者の発問(○)(※◎は中心発問)と 予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点
導入 15分	1 価値について考える	○もしも、皆さんの住んでいる場所で津波が起こったら、どう行動するか？ ・逃げる ・とにかく高いところへ逃げる ○その時、あなたの家族が「ここを逃げない」と言ったら、あなたはどうか？ ・置いていく ・連れていく ○(連れていくと答えた生徒に)もしその家族に障害がありあなただけで連れていくことが難しい時は、あなたはどうしますか？	・実際に内陸の生徒は、自分が仕事や家族の引っ越しでというイメージで考えてもらう。 ・生命にかかわることなので、生徒の状況に配慮しながら進めていく。 ・「逃げない」と言って、実際に津波の犠牲者になった人についても触れる。
展開 25分	2 教師の範読 3 感じたことを話し合う 4 記事を読んで、「にげましよう」という言葉について考える 5 価値に迫る	課題：災害で私たちができることは何か？ ○読んで感じたことを近くの人と話してみよう。 ○「にげましよう」という言葉についてどう思うか？ ・共感できる ・難しいのではないか → 二項対立で話し合う。 ◎『「こんな災害で死んでたまるか」という気持ちが弱くなっている。」と河田教授は感じているのはなぜか？ ・自分は生きていてもしょうがない ・「生きたい」と思う気持ちが弱い ○中学生のあなたができることは何か？ ・自分のいのちを大切にする。 ・「いのちは大事」と伝え続ける。	・隣近所と話し、2名程度発表してもらう。 ・二項対立にしながら、生徒が感じたことを考えていく。 導入で話したようなことも想起しながら進める。 ・「自分は必要ない存在」と考えてしまっているなどを、感じ取らせたい。 ・「祖父母に連絡する」だけの生徒は、それがなぜ必要か考えさせる。
終末 10分	6 振り返り 7 教師の説話	○今日の授業で感じたことをまとめてみましょう。 ○岩手日報「人を想うてんでんこ」を読む (2013年2月21日『日報論壇』)	ワークシートに記入 ・いのちの大切さと人とのつながりについての考えを持たせたい。

数学科学習指導案（略式）

日 時 令和〇年△月◇日
 学 級 □□中学校 3年▽組
 授 業 者 氏名非公表

本時について

(1) 主題

身のまわりの調査について調べてみよう。

(2) 指導目標

身のまわりで行われている調査には全数調査と標本調査があることを知り、標本調査の必要性と実施する意味を理解する。

(3) 評価規準

◎標本調査が行われる例について、全数調査ではなく標本調査が行われる理由を考え、説明することができる。【思考・判断・表現等】

(4) 指導の構想

導入では、全数調査と標本調査の概要について学び、日報+の記事に記載されているさまざまな調査における調査方法や調査対象などを調べる。

展開では、日報+で調べたそれぞれの記事をもとに、全数調査と標本調査の特徴を考え、そのうえで標本調査を行う理由について考える。その後、標本調査に関する基本知識を学び、教科書問題に取り組む。

まとめでは、標本調査を行う意味を子どもたち自身の言葉でシートに記入し、本時の振り返りを行う。

(5) 展開

学習内容	指導内容・教師の発問	予想される児童の反応	留意点・評価
導入 (20分)	1.導入 ○前回の振り返りと新たな知識について学ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 調査の対象となる集団全体について調査を全数調査という。一方で、集団の一部分を調査して、集団全体の傾向を推測する調査を標本調査という。 </div> 2.それぞれの調査の種類について ○日報+を用いて、以下の調査は「標本調査」と「全数調査」のどちらに分類されるかグループで考える。 1 全国学力・学習状況調査 2 出口調査 3 国勢調査 4 視聴率調査 5 世論調査	・標本調査は 245 かな。 ・ほかの調査はどのようなだろうね。	<input type="checkbox"/> 授業前にパソコンの準備を呼びかける。 <input type="checkbox"/> 授業プリントをロイノートで配布する。 <input type="checkbox"/> 時間に余裕があれば、日報+で他にさまざまな調査について調べるよう促す。 <input type="checkbox"/> 出来るだけ調査方法や調査対象が詳細に記述されている記事を選ぶよう呼びかける。

	<p>6 (インフルエンザの) 感染者数調査</p> <p>→すべて全数調査を行えば確実なのは？ どうして標本調査をするのだろうか？</p> <p>3.課題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>標本調査が行われるのはどのような場合か考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに全部調べたほうがデータとして確実だよ。 ・全員に調べたら時間がかかりそう。 	<p><input type="checkbox"/>全数調査のほうが確実であることは学級全体で一致させる。</p>
<p>展開 (20分)</p>	<p>4.標本調査について調べる</p> <p>○全数調査、標本調査に関する新聞記事の内容をみて、それぞれの特徴を各グループで考える。…①</p> <p>○教科書 p215 問1 を提示し、缶詰の品質調査で標本調査を実施する理由を考える。…②</p> <p>○①と②で考えたことから、標本調査を行う意味などについてグループで考えを深める。</p> <p>○グループの考えを全体で発表する。</p> <p>5.標本調査の知識について</p> <p>○用語を学ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>標本調査を行うとき、傾向を知りたい集団全体を母集団、母集団から取り出して調べたものは標本という。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全数調査は、対象となる全員のデータが必要な時に調べているね。 ・標本調査の内容は一部を調べて全体の傾向を予測しているのだね。 ・缶詰全部を調べると、売り物がなくなっちゃうね。 ・標本調査は、コストや手間、時間をかけずに出来る。 ・商品などをすべて壊すおそれもない。 	<p><input type="checkbox"/>グループの考えはロイロノートにまとめて提出するよう呼びかける。</p> <p><input type="checkbox"/>グループの意見はスクリーンで全体交流をする。</p>

	○教科書 p216 問2 に取り 組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・母集団は有権者全員だね。 ・標本は選び出された人。 ・標本の大きさは 1000 だね。 	
まとめ (10分)	6.まとめ/振り返り ○標本調査の意味を授業 シートに記入するととも に、本時の振り返りを行 う。		◎標本調査が行われ る例について、全数調 査ではなく標本調査 が行われる理由を考 え、説明することがで きる。(机間巡視、発 表、授業シート)

(6) 授業プリント（以下の内容をロイロノートで配布する）

組 名前 _____

調査の対象となる集団全体について調査を_____調査という。
一方で、集団の一部を調査して、集団全体の傾向を推測する調査を_____調査という。

● 次の調査はどちらに分類される？（日報+で調べてみよう）

- | | | |
|--------------------|-------|----|
| 1 全国学力・学習状況調査 | _____ | 調査 |
| 2 出口調査 | _____ | 調査 |
| 3 国勢調査 | _____ | 調査 |
| 4 視聴率調査 | _____ | 調査 |
| 5 世論調査 | _____ | 調査 |
| 6 （インフルエンザの）感染者数調査 | _____ | 調査 |

〈本時の課題〉

① それぞれの調査の特徴

② P215 問1 缶詰の品質調査を標本調査で行う理由は？

● ①と②から、標本調査を行う意味は何だろう？

_____調査を行うとき、傾向を知りたい集団全体を_____、_____から取り出して調べたものは_____という。

● P216 問2

〈まとめ〉 標本調査を行う意味は？（自分の言葉で記述しよう）

■ 本時の振り返り

世論調査



岩手日報 2025年11月17日 朝刊 5頁

無党派53%が内閣支持 全国世論調査

共同通信世論調査で、「支持する政党はない」とした無党派層のうち、高市内閣を「支持する」と答えた人は53・8%だった。46・5%だった前回10月21、22両日調査に比べ、7・3%増えた。立憲民主党支持層では「支持する」が46・8%で、「支持しない」37・8%を上回った。「支持する」は前回より13・9%増え、一定の評価を受けたと言えそうだ。

日本維新の会支持層の90・7%、自民党支持層の88・6%、国民民主党支持層の85・3%が「支持する」と答えた。高市内閣が発足する直前に連立政権から離脱した公明党の支持層では「支持する」47・1%、「支持しない」33・2%だった。

年代別に見ると、30代以下の若年層で「支持する」は80・3%。40、50代の中年層は71・9%。60代以上の高齢層が61・7%と、年代が上がるにつれて低下する傾向がみられた。ただ前回調査から若年層は1・0%増えたが、中年層は7・2%、高齢層は6・8%増となった。中、高齢層では支持する理由として「首相に指導力がある」を挙げた人が多かった。

全国世論調査結果 (数字は%、かつこ内は前回10月21、22両日調査)

<p>問1 あなたは、高市内閣を支持しますか、支持しませんか。</p> <p>支持する 69・9 (64・4)</p> <p>支持しない 16・5 (23・2)</p> <p>分からない・無回答 13・6 (12・4)</p>	<p>みんなでつくる党 0・1 (0・4)</p> <p>その他の政党・政治団体 0・7 (0・1)</p> <p>支持する政党はない 23・0 (19・8)</p> <p>分からない・無回答 1・7 (1・5)</p>	<p>得ると答弁しました。あなたは、台湾有事で集団的自衛権を行使するという考えに賛成ですか、反対ですか。</p> <p>賛成 20・7</p> <p>どちらかといえば賛成 28・1</p> <p>どちらかといえば反対 25・9</p> <p>反対 18・3</p> <p>分からない・無回答 7・0</p>
<p>問2 (問1で「支持する」と答えた人に聞く) 支持する最も大きな理由をお答えください。</p> <p>首相を信頼する 21・5 (26・6)</p> <p>自民、維新の連立政権だから 4・3 (13・3)</p> <p>首相に指導力がある 20・7 (10・7)</p> <p>経済政策に期待できる 23・8 (22・5)</p> <p>外交に期待できる 11・6 (7・3)</p> <p>ほかに適当な人がいない 15・8 (18・1)</p> <p>その他 1・5 (0・9)</p> <p>分からない・無回答 0・8 (0・6)</p>	<p>問5 高市早苗首相は、物価高に対応するため、経済対策を作り、補正予算案を今国会に提出する方針です。あなたは、高市首相の物価高対策に期待していますか、期待していませんか。</p> <p>期待している 69・6</p> <p>期待していない 26・6</p> <p>分からない・無回答 3・8</p>	<p>問10 クマによる被害が各地で深刻化し、2025年度の死者は10人を超え過去最多となっています。あなたは、政府の対応は迅速だと思いますか、遅いと思いますか。</p> <p>迅速だ 8・3</p> <p>どちらかといえば迅速だ 23・1</p> <p>どちらかといえば遅い 31・8</p> <p>遅い 33・2</p> <p>分からない・無回答 3・6</p>
<p>問3 (問1で「支持しない」と答えた人に聞く) 支持しない最も大きな理由をお答えください。</p> <p>首相が信頼できない 19・5 (17・8)</p> <p>自民、維新の連立政権だから 21・9 (32・4)</p> <p>首相に指導力がない 2・7 (7・1)</p> <p>経済政策に期待が持てない 18・8 (12・2)</p> <p>外交に期待が持てない 13・5 (7・5)</p> <p>首相にふさわしいと思えない 20・0 (18・5)</p> <p>その他 1・8 (2・8)</p> <p>分からない・無回答 1・8 (1・7)</p>	<p>問6 高市首相は、景気を下支えするため「責任ある積極財政」を掲げ、赤字国債の発行も選択だとしています。あなたは、高市首相が就任したことで、将来の日本財政への不安が増しましたか、減りましたか。</p> <p>不安が増した 13・0</p> <p>どちらかといえば不安が増した 26・3</p> <p>どちらかといえば不安が減った 38・7</p> <p>不安が減った 14・9</p> <p>分からない・無回答 7・1</p>	<p>問11 自民党と日本維新の会は、衆議院議員の定数1割削減を連立政権合意に掲げています。定数削減に関して、あなたの考えに最も近いのはどれですか。</p> <p>小選挙区を中心に削減すべきだ 7・4</p> <p>比例代表を中心に削減すべきだ 32・7</p> <p>小選挙区、比例とも同程度削減すべきだ 39・8</p> <p>定数削減はするべきではない 12・9</p> <p>分からない・無回答 7・2</p>
<p>問4 あなたは、どの政党を支持しますか。</p> <p>自民党 30・0 (31・4)</p> <p>立憲民主党 8・3 (8・4)</p> <p>日本維新の会 7・4 (8・3)</p> <p>国民民主党 8・8 (8・8)</p> <p>公明党 3・1 (3・8)</p> <p>れいわ新選組 3・2 (3・1)</p> <p>共産党 3・7 (3・1)</p> <p>参政党 7・3 (6・8)</p> <p>日本保守党 0・9 (2・4)</p> <p>社民党 0・6 (1・1)</p> <p>チームみらい 1・2 (1・0)</p>	<p>問7 高市首相は、防衛力強化に向け防衛費の増額を急ぐと表明しています。あなたは、この方針に賛成ですか、反対ですか。</p> <p>賛成 60・4</p> <p>反対 34・7</p> <p>分からない・無回答 4・9</p>	<p>問12 高市首相は、萩生田光一氏ら自民党派閥裏金事件に関与した議員を党や政府の要職に起用しました。あなたは、高市首相に政治とカネ問題解決への意欲を感じますか、感じませんか。</p> <p>意欲を感じる 27・6</p> <p>意欲は感じない 64・7</p> <p>分からない・無回答 7・7</p>

▽調査の方法＝全国の有権者を対象に15、16両日、コンピューターで無作為に発生させた番号に電話をかけるRDD (ランダム・デジット・ダイヤリング) 法で実施した。実際に有権者がいる世帯にかかったのは482件、うち424人から回答を得た。携帯電話は、電話がかかった3725件のうち622人から回答を得た。

【注】小数字2位を四捨五入



18歳新成人109万人 総務省推 午年生まれ940万人

総務省が31日公表した2026年1月1日時点の人口推計によると、07年生まれの新成人(18歳)は109万人で、25年と並んだ。統計がある1968年以来最少だった24年の106万人に次ぎる節目に少なく、少子化の流れが続いている。年男・年女に当たる午年生まれは940万人で、土曜日に最多と最も少ない。総人口に占める新成人の割合は0.89%で、前年より0.01%増えた。男女別では男性56万人、女性53万人。新成人人口は、第1次ベビーブーム世代(1947~49年生まれ)が成人した直後の70年に246万人と最多を記録した。第2次ベビーブーム世代(71~74年生まれ)が成人した90年代前半には200万人台まで目下の山を迎えたが、その後は減少傾向が続く。成人年齢は今年4月に20歳から18歳に引き下げられた。今回の新成人が生まれた07年の出生数は、景気回復などで6年ぶりに前年比プラスとなった06年の傾向を引き継ぎ、06年比で微減にとどまった。ただ10年代以降は出生数の減少が加速し、24年は70万人を下回った。午年生まれの男性は456万人、女性は484万人。生まれた年で見ると、78年生まれで48歳となる人が168万人と最も多く、54年生まれの72歳が147万人。丙午に当たる66年生まれの60歳は130万人だった。最も若い14年生まれの12歳は100万人。

推計は国勢調査を基にした出生数や死亡数などから算出。国内に3カ月を超えて滞在する外国人も含まれる。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

中3数学正答率50%割れ テスト 全国平均、国語は54.6%

文部科学省は14日、小学6年と中学3年の全員を対象に4月に実施した2025年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を公表した。難易度が異なり単純比較はできないが、全国平均正答率(国公私立)は、国語と算数・数学で小中ともに前回より下がり、中3数学は50%を下回った。同省は31日に詳細な分析結果を公表する。

文科省は今回から結果公表の方法を変更。これまで全国の平均正答率や結果分析、都道府県・政令指定都市別の結果を一括で公

表していたが、3回に分けた。次回は31日の結果分析で、都道府県・政令指定都市別の結果は8月以降となる予定。

結果によると、小6は国語70.0%、算数58.2%、どこに位置しているかが結果として返却される。中3は国語54.6%、数学48.8%だった。3年ぶりの中3国語では、選択式や実施の理科は小6が57.3%、短答式が67.7割の正答率。デジタル端末を使い出したのに対し、記述式はオンラインで出題・解答する25.6%だった。文章の展開や構成について根拠を明らかにした中3理科は、国際問題にして自分の考えを書くような学力調査で採用される「IRIT(項目反応理論)スコア」で示され、全国平均50.5点だった。IRITは異なる問題を解いても学力を比べられ、結果の経年比較ができるのがメリットとされる。文科省は27年度から全教科に拡大して紙の問題冊子を廃止す

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。

第3学年英語科 学習指導案

- 1 単元（題材）名 「Program 5 The Story of Chocolate」（開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE book3）
Step 4 ディスカッションで使う表現をおさえよう

2 単元の目標

自分の意見を相手に伝えるための英語表現や会話を継続させるための表現を使用し、お互いの考えをより深めるために、自分の考えを理由を含めて、伝えあうことができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の意見を相手に伝えるための表現や会話を継続させるための表現を理解し、使用することができる。	お互いの考えをより深めるために、相手の意見に対して自分の意見を返したり、相手の発言に対して質問するなど、英語でのやり取りを継続させている。	お互いの考えをより深めるために、相手の意見に対して自分の意見を返したり、相手の発言に対して質問するなど、英語でのやり取りを継続させようとしている。

4 指導と評価の計画

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	知	思	態	備考
1 本時	■ 新聞記事を読んで、自分の意見を英語で話す。 ①活動の確認をし、岩手日報+のアプリの記事を読む。 ②意見を伝える時の表現や会話を継続させるための表現などを確認する。 ③ペアで意見を伝え合い、その内容を踏まえ自分の考えを書く。				記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。
2	■ 相手の意見に対して応答したり質問したりするなど、即興で対応しながらやり取りを継続する。 ①前時に提出してもらった意見から、いくつか紹介する。 ②前時に学んだ意見をやり取りするための表現を確認する。 ③3～4人のグループに分かれ、対立する意見をもつグループ同士で意見を発表し合う。聞いている生徒は、どちらのグループの意見により納得できたか、その理由とともにタブレットに記録し、提出する。 ④自分や友達がやり取りした内容を思い出しながら、最終的な自分の考えをワークシートにまとめる。	○	○	○	観察 ワーク シート

5 本時の指導（1/2時間）

- (1) 目標 新聞記事を読んで、意見を英語で相手と伝え合う。

(2) 展開

時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点 評価の観点
導入 5分	1 挨拶	・英語で挨拶をする。	
	2 活動の確認	・本時の授業の目標、授業の流れを確認し、本時のゴールを生徒と共有する。	
新聞記事を読んで、意見を英語で伝え合おう。 「中学生は紙の教科書とデジタル教科書のどちらを使うべきか？」			

展開 35分	3 記事紹介	・岩手日報+のアプリからデジタル教科書と紙の教科書を比較した記事を読む。	・読み終わったら、日本語で友達と意見交換しても良いことを伝える。 ・発表時に英語での表現の仕方が分からなかったものについては日本語で言って良いと伝える。	
	4 モデル呈示	・T1 と ALT が紙派とデジタル派に分かれ、それぞれの側の長所を理由を含めて英語で話す。		
	5 表現確認	・ディスカッションで使う表現を確認する。		
	6 長所と短所の比較	・紙の教科書・デジタル教科書の長所と短所について全体から意見を取り、英語での表現の仕方を考える。		
	7 ディスカッション1	・ペアで2分間ディスカッションをする。		
	8 発表	・ペアでの会話を発表する。 ・英語で言えなかった表現について全体で確認する。		
	9 ディスカッション2	・次のペアで2分間ディスカッションをする。		
	10 発表	・ペアでの会話を発表する。 ・英語で言えなかった表現について全体で確認する。		
	まとめ 10分	1 1 振り返り		・タブレットに自分が話した意見や友達の意見でいいなど思った意見、言いたかったけど言えなかった表現について記入し、提出する。
		1 2 次時の予告		・次時は紙の教科書派とデジタル教科書派のグループに分かれて、「Which is better for junior high school students, paper textbooks or digital textbooks?」というテーマでディベートを行うことを予告する。

紙の教科書	デジタル教科書
<ul style="list-style-type: none"> 一覧性に優れる 多くの教員が使い慣れている デジタルより記憶に残りやすいとの指摘も ランドセルが重くなる 書き込んだ文字や線が消しにくい 印刷や運搬のコストがかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の拡大や音声読み上げができる 内容に関連する動画が見られる 配慮が必要な児童生徒の困難が軽減できる 通信環境に左右される 視力など健康面への配慮が必要 学校での実践の蓄積が少ない

デジタル正式教科書検討

「紙かデジタルかの単純な一学でも約半数の公立学校に無償提供しては、子どもたちのより良い学びを、どう支援していくか。21日の中教審作業部会で、主査を務める東京学芸大学の堀田龍也教授はこう強調した。視覚や聴覚に訴える機能は、学校現場は近年、全ての小中学生に学習用端末が配られるなどデジタル化が急速に進む。デジタル教科書は学校教育法改正により、2016年度から使用可能になった。導入を推進する文部科学省は、少子・中少子で、英語の購入費用を国費で措置し、算数・数

変わる授業 論点山積

現場、機能充実に期待 「紙」重視の声も強く

校現場では、紙の教科書が依然重用されているのが実情だ。財務省が23年度、公立小中学校教員に尋ねた調査では、デジタルと紙の教科書を併用しているが、紙が多いとの回答が最多で、英語で53%、算数・数学で64%を占めた。文科省が委託した別の調査でも、デジタル教科書の授業での使用頻度が「1回以上1回未満」の教員が36%に上る。一定数の教員が、効果的な活用方法に関する情報不足や、子どもが授業と関係のない操作をすることなどを課題に挙げた。デジタルが紙と同様に正式な教科書となっても、文科省は財源などを理由に、一つの教育委員会に両方を無償配布するかどうかは否定的だ。各教員は30年度から、どちらかを使うか選択を迫られることになりそうだ。近畿地方の公立の50代男性教員は、ページをめくる速さや一目で全体の情報を見渡せる点で紙に利便性を感じる一方、音声や動画も子どもの学習に役立つと捉える。同じ教員でも単人で向き不向きがあり、「2択の話ではなく、役割分担を考えるべきだ」と語る。作業部会は、一つの教科書で紙とデジタルの部分に分ける「ハイブリッド型」も検討課題に挙げたが、教科書会社からはマンパワー不足を不安視する声がある。文科省幹部は「現場のニーズを把握しながら政策を進めていく」と話した。

学習指導案

- 1 日 時
- 2 実践校
- 3 学 級
- 4 担当者 岩手大学教育学研究科教育実践専攻 佐藤 錦
- 5 教科書 精選工業情報数理（文部科学省検定済教科書 7実教/工業 719 高等学校工業科用）
- 6 単元名 第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア
第3節 アプリケーションソフトウェア
- 7 単元目標 (1) コンピュータの正しい利用手続き，マウス・タッチスクリーン・キーボードなどの基本的な操作について理解する。
(2) 作成したデータの保存や利用に必要な補助記憶装置と取扱いについて理解する。
(3) アプリケーションソフトウェアの種類を理解し，実際に使えるようにする。

8 評価規準 評価の観点

- 1【知識・技能】 2【思考力・判断力・表現力】 3【主体的に学習に取り組む態度】

規 準	具体的な生徒の姿等
十分満足できると判断される状況(A)	1Bを満たし、情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得している。 2Bを満たし、アプリケーションソフトウェアを活用して情報をデザインし表現できる。 3Bを満たし、アプリケーションソフトウェアについて興味を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。
概ね満足できると判断される状況(B)	1アプリケーションソフトウェアに共通する基本的な操作などの技術を習得している。 2アプリケーションソフトウェアの中から必要なソフトウェアを選択することについて思考・判断でき、自分の考えを表現できる。 3機器の基本操作、記憶装置の取扱いなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。
努力を要する生徒への指導の手立て	机間指導による個別対応を行い、機器操作及び「+日報」の活用（操作方法）に困難がある生徒に対しては、助言・助力を施す。

9 本時の指導計画

段階	時間	学習活動	期待する生徒の姿	◆:留意点 ◇:資料
導入	5分	1「+日報」の操作方法(復習) ①前日の記事を検索する。	1「+日報」の検索機能を活用し、記事を検索及び表示することができる。	◆:「+日報」の操作方法をスクリーンに提示する。
展開	35分	▶ 発問 :あなたは、ライターとして地域(県内)の情報を発信する仕事に就いています。「+日報」を活用して、地域の情報を検索(複数)し、レポートとしてまとめてください。ただし、情報の種類は問わないこととし、文字・画像等を活用してください。 2「+日報」を活用し、レポートを作成する。 ① +日報から、県内の記事を調査する。 ② ①で選定した記事のレポートを「日本語ワードプロセッサ」を活用して作成する。	2①「+日報」の検索機能を活用することができる。 2① 選定した理由を説明することができる。 2② 文字・画像等を活用したレポートを作成することができる。 2② 時間内(約30分間)でレポートを完成させることができる。 備考:複数とは、例えば「盛岡市のイベント」について調査をする場合、複数のイベント記事を検索しまとめるということを指す。	◆:事前に本時の授業内容を提示する。 ◆2①:「+日報」の操作方法を前時までに学習する。 ◆2②:日本語ワードプロセッサの操作方法を前時までに学習する。 ◆:出力用紙サイズは「A4 版表面 1枚以内」とし、余白は特に指定しない。 ◆:データの記憶媒体は各人の、USBフラッシュドライブとする。 ◆:各人で同一の記事になってもよい。 ◆:レポートのレイアウト(様式)は指定しない。
終末	10分	1データの保存を行う 2本時の学習内容の振り返り	1データ保存状況の確認を行う。 2学習内容の振り返りを行う。	